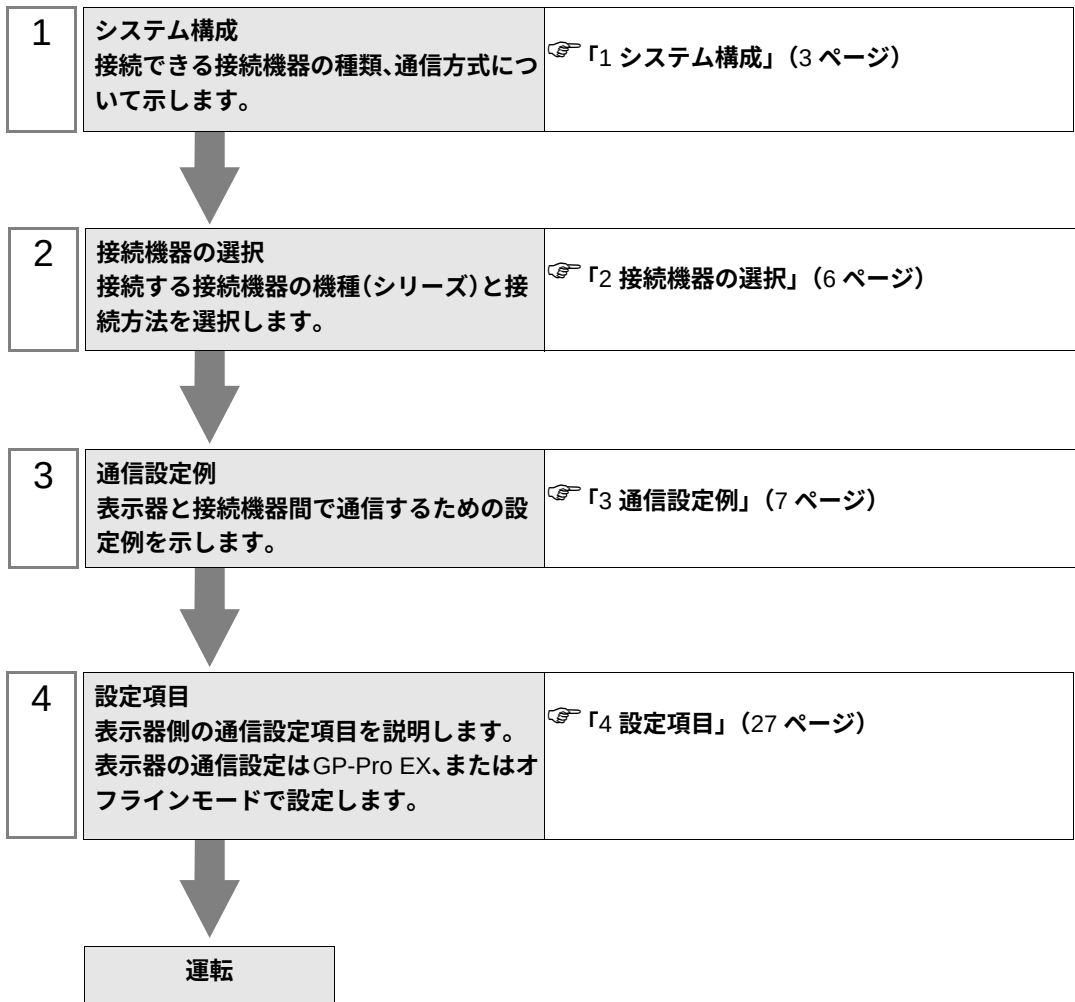


# H シリーズ イーサネットドライバ

|   |                       |    |
|---|-----------------------|----|
| 1 | システム構成.....           | 3  |
| 2 | 接続機器の選択 .....         | 6  |
| 3 | 通信設定例 .....           | 7  |
| 4 | 設定項目 .....            | 27 |
| 5 | 使用可能デバイス .....        | 31 |
| 6 | デバイスコードとアドレスコード ..... | 38 |
| 7 | エラーメッセージ .....        | 41 |

## はじめに

本書は表示器（GP3000 シリーズ）と接続機器（対象 PLC）を接続する方法について説明します。  
本書では接続方法を以下の順に説明します。



# 1 システム構成

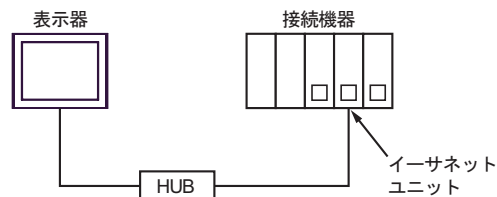
日立産機製接続機器と表示器を接続する場合のシステム構成を示します。

| シリーズ名      | CPU                                                                                                                           | リンク I/F             | 通信方式         | 設定例             |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|--------------|-----------------|
| H          | H-4010(CPU3-40H)<br>H-2002(CPU2-20H)<br>H-1002(CPU2-10H)<br>H-702(CPU2-07H)<br>H-302(CPU2-03H)                                | LAN_ETH2<br>LAN_ETH | イーサネット (TCP) | 設定例 1 (7 ページ)   |
|            |                                                                                                                               |                     | イーサネット (UDP) | 設定例 2 (9 ページ)   |
| EH-150     | EH-150(EH-CPU548)<br>EH-150(EH-CPU516)<br>EH-150(EH-CPU448A)<br>EH-150(EH-CPU448)<br>EH-150(EH-CPU316A)<br>EH-150(EH-CPU308A) | EH-ETH※ 1           | イーサネット (TCP) | 設定例 3 (11 ページ)  |
|            |                                                                                                                               |                     | イーサネット (UDP) | 設定例 4 (13 ページ)  |
| Web コントローラ | EH-WD10DR<br>EH-WA23DR                                                                                                        | CPU 上のイーサネットポート     | イーサネット (TCP) | 設定例 5 (15 ページ)  |
|            |                                                                                                                               |                     | イーサネット (UDP) | 設定例 6 (17 ページ)  |
| EHV        | EHV-CPU128                                                                                                                    | CPU 上のイーサネットポート     | イーサネット (TCP) | 設定例 7 (19 ページ)  |
|            |                                                                                                                               |                     | イーサネット (UDP) | 設定例 8 (21 ページ)  |
|            |                                                                                                                               | EH-ETH※ 1           | イーサネット (TCP) | 設定例 9 (23 ページ)  |
|            |                                                                                                                               |                     | イーサネット (UDP) | 設定例 10 (25 ページ) |

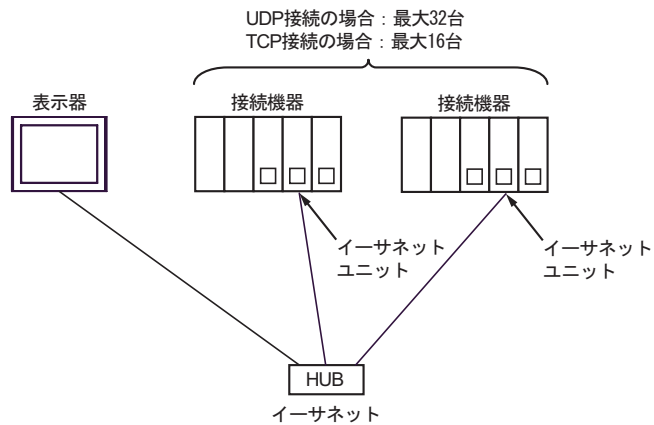
※ 1 表示器と接続する場合、SOFTWARE VER.06 以上の EH-ETH が必要です。(バージョンは EH-ETH 本体のラベルで確認してください。)

## ■ 接続構成

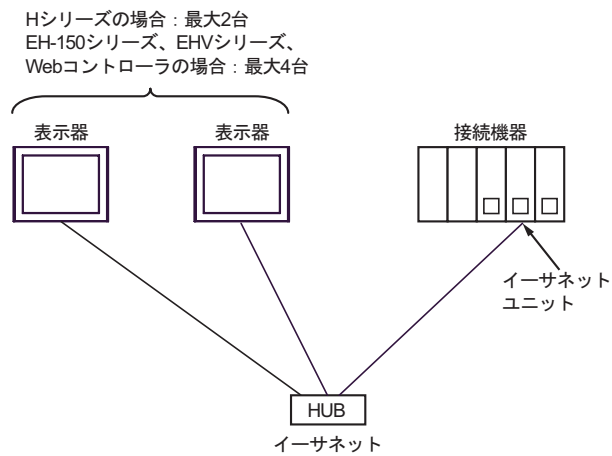
[1:1 の場合]



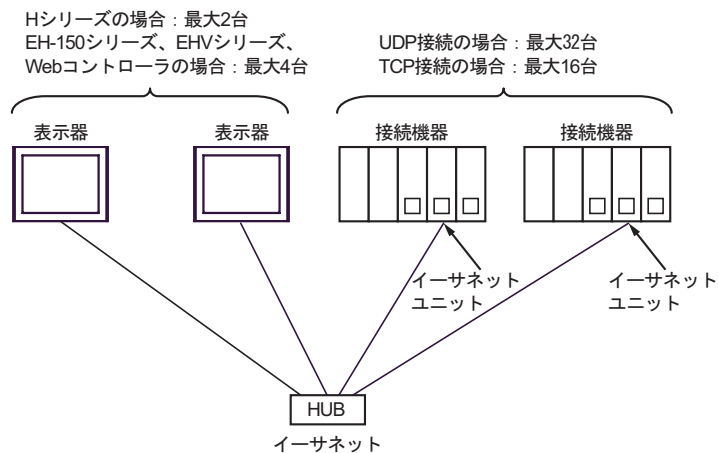
## [1:n の場合]



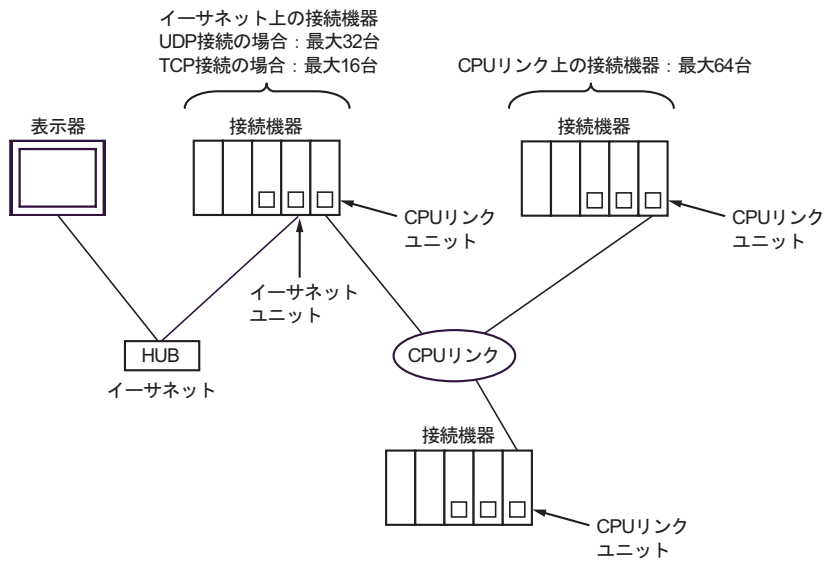
## [n:1 の場合]



## [n:m の場合]

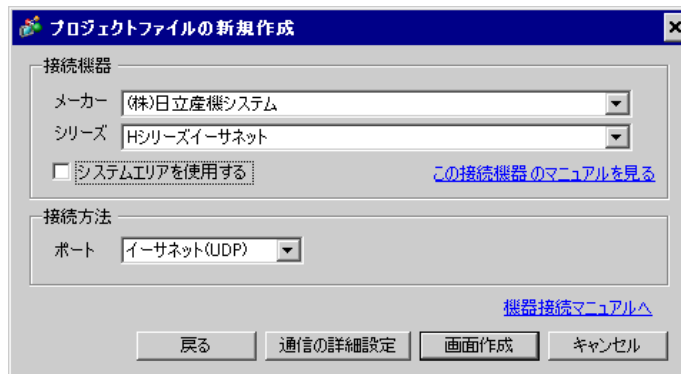


Web コントローラはこのパターンをサポートしていません。



## 2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。



| 設定項目         | 設定内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メーカー         | 接続する接続機器のメーカーを選択します。「(株) 日立産機システム」を選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| シリーズ         | 接続する接続機器の機種（シリーズ）と接続方法を選択します。「H シリーズイーサネット」を選択します。<br>「H シリーズイーサネット」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。<br>👉「1 システム構成」(3 ページ)                                                                                                                                                                                                                                            |
| システムエリアを使用する | 表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス（メモリ）を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。<br><b>参照：GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア（ダイレクトアクセス方式専用）」</b><br>この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。<br><b>参照：GP-Pro EX リファレンスマニュアル「6.13.6[ システム設定ウィンドウ ] の設定ガイド■ [ 本体設定 ] の設定ガイド◆システムエリア設定」</b><br><b>参照：GP3000 シリーズユーザーズマニュアル「4.3.6 システムエリア設定」</b> |
| ポート          | 接続機器と接続する表示器のポートを「イーサネット (UDP)」「イーサネット (TCP)」から選択します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

### 3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

#### 3.1 設定例 1

##### ■ GP-Pro EX の設定

##### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの [ システム設定ウィンドウ ] から [ 接続機器設定 ] を選択します。

##### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[ 接続機器設定 ] の [ 機器別設定 ] から設定したい接続機器の  ([ 設定 ]) をクリックします。[ シリーズ ] から「H/EH-150 シリーズ」を選択します。

##### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスとポート番号は、接続機器側の IP アドレスとポート番号を設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

## ■ 接続機器の設定（LAN-ETH、LAN-ETH2）

通信設定はラダーソフト（LADDER EDITOR for Windows）で所定の I/O 番号に値を入力することで行います。

詳細はラダーソフトのマニュアルを参照してください。

1. CPU モジュールにイーサネットモジュールを割り付けます。

CPU モジュールとラダーソフトが通信できるように環境設定を行います。

2. ラダーソフトの [I/O 割付] でイーサネットモジュールを I/O に割り付けます。
3. ラダーソフトの [CPU 書込] で I/O 割付の設定を接続機器に書込みます。

以上で接続機器の環境設定が終了します。

4. 続いて、接続機器の通信設定を行います。

イーサネットモジュールのディップスイッチを以下のように設定します。

下記のように設定することで、イーサネットモジュールの IP アドレスが設定可能になります。

| ディップスイッチ | 設定   | 内容                                    |
|----------|------|---------------------------------------|
| 1        | OFF  | モード選択（常時 OFF）                         |
| 2        | ON※1 | 10BASE-T(ON) / 10BASE-5 (OFF) 切り替え    |
| 3        | OFF  | 予約（常時 OFF）                            |
| 4        | OFF  | IP アドレス書き換え設定（OFF：書き換え可能）             |
| 5        | OFF  | 機能種別選択<br>左記の状態で IP アドレスを設定することができます。 |
| 6        | ON   |                                       |
| 7        | ON   |                                       |
| 8        | OFF  |                                       |

※1 LAN-ETH2 の場合、常時 OFF（10BASE-T のみ）にしてください。

5. ラダーソフトの I/O モニタで所定の I/O 番号に IP アドレスやポート番号を入力します。  
入力する I/O 番号はイーサネットモジュールを割り付けたスロット位置によって異なります。  
詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
6. イーサネットモジュールに設定した通信設定を書込みます。  
ラダーソフトの I/O モニタでアドレス「R0」を表示し、[強制セット / リセット] ダイアログボックスで設定値に 1 を入力します。
7. 接続機器の電源を OFF し、イーサネットモジュールのディップスイッチ 5 から 8 を OFF した後に接続機器の電源を ON します。

### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。



## 3.2 設定例 2

### ■ GP-Pro EX の設定

#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの [ システム設定ウィンドウ ] から [ 接続機器設定 ] を選択します。

#### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[ 接続機器設定 ] の [ 機器別設定 ] から設定したい接続機器の  ([ 設定 ]) をクリックします。[ シリーズ ] から「H/EH-150 シリーズ」を選択します。

#### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスとポート番号は、接続機器側の IP アドレスとポート番号を設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

## ■ 接続機器の設定（LAN-ETH、LAN-ETH2）

通信設定はラダーソフト（LADDER EDITOR for Windows）で所定の I/O 番号に値を入力することで行います。

詳細はラダーソフトのマニュアルを参照してください。

1. CPU モジュールにイーサネットモジュールを割り付けます。

CPU モジュールとラダーソフトが通信できるように環境設定を行います。

2. ラダーソフトの [I/O 割付] でイーサネットモジュールを I/O に割り付けます。

3. ラダーソフトの [CPU 書込] で I/O 割付の設定を接続機器に書込みます。

以上で接続機器の環境設定が終了します。

4. 続いて、接続機器の通信設定を行います。

イーサネットモジュールのディップスイッチを以下のように設定します。

下記のように設定することで、イーサネットモジュールの IP アドレスが設定可能になります。

| ディップスイッチ | 設定   | 内容                                    |
|----------|------|---------------------------------------|
| 1        | OFF  | モード選択（常時 OFF）                         |
| 2        | ON※1 | 10BASE-T(ON) / 10BASE-5 (OFF) 切り替え    |
| 3        | OFF  | 予約（常時 OFF）                            |
| 4        | OFF  | IP アドレス書き換え設定（OFF：書き換え可能）             |
| 5        | OFF  | 機能種別選択<br>左記の状態で IP アドレスを設定することができます。 |
| 6        | ON   |                                       |
| 7        | ON   |                                       |
| 8        | OFF  |                                       |

※1 LAN-ETH2 の場合、常時 OFF（10BASE-T のみ）にしてください。

5. ラダーソフトの I/O モニタで所定の I/O 番号に IP アドレスやポート番号を入力します。

入力する I/O 番号はイーサネットモジュールを割り付けたスロット位置によって異なります。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

6. イーサネットモジュールに設定した通信設定を書込みます。

ラダーソフトの I/O モニタでアドレス「R0」を表示し、[強制セット / リセット] ダイアログボックスで設定値に 1 を入力します。

7. 接続機器の電源を OFF し、イーサネットモジュールのディップスイッチ 5 から 8 を OFF した後に接続機器の電源を ON します。

### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

### 3.3 設定例 3

#### ■ GP-Pro EX の設定

##### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの [ システム設定ウィンドウ ] から [ 接続機器設定 ] を選択します。

##### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[ 接続機器設定 ] の [ 機器別設定 ] から設定したい接続機器の  ([ 設定 ]) をクリックします。[ シリーズ ] から「H/EH-150 シリーズ」を選択します。

##### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスとポート番号は、接続機器側の IP アドレスとポート番号を設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

## ■ 接続機器の設定（EH-ETH）

通信設定はイーサネットモジュールにウェブブラウザでアクセスして行います。

なお、接続機器の環境設定を行うためにラダーソフト（LADDER EDITOR for Windows）を使用します。

詳細は EH-ETH のマニュアルを参照してください。

1. ラダーソフトの [I/O 割付] で CPU モジュールにイーサネットモジュールを割り付けます。
2. イーサネットモジュールのディップスイッチ 1、6 のみ ON にして電源を投入します。イーサネットモジュールにアクセスするための仮の IP アドレス（192.168.0.4）が設定されます。

| ビット No.※1 |     |     |     |     |    |     |     | 動作モード            |
|-----------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|------------------|
| 1         | 2   | 3   | 4   | 5   | 6  | 7   | 8   |                  |
| ON        | OFF | OFF | OFF | OFF | ON | OFF | OFF | Ethernet 情報設定モード |

※1 IP アドレスの最下位バイトをビット No.3 から 8 で設定します。上位 3 バイトは 192.168.0. 固定です。

3. パソコンの Ethernet ポートと EH-ETH の Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。（HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。）
4. ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.4/」と入力し、イーサネットモジュールへアクセスします。  
アクセスするためにはパソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があります。（192.168.0.10 など）
5. 表示された画面のメニューフレームから [IP Address] を選択し、IP アドレスを設定します。
6. 同様にメニューフレームから [Task Code] を選択し、「Port No.」「Protocol」を設定します。  
IP アドレス、「Port No.」「Protocol」は表示器側で設定した内容に合わせてください。
7. 接続機器の電源を OFF し、ディップスイッチをすべて OFF にして接続機器の電源を ON します。

### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

### 3.4 設定例 4

#### ■ GP-Pro EX の設定

##### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの [ システム設定ウィンドウ ] から [ 接続機器設定 ] を選択します。

##### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[ 接続機器設定 ] の [ 機器別設定 ] から設定したい接続機器の  ([ 設定 ]) をクリックします。[ シリーズ ] から「H/EH-150 シリーズ」を選択します。

##### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスとポート番号は、接続機器側の IP アドレスとポート番号を設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

## ■ 接続機器の設定（EH-ETH）

通信設定はイーサネットモジュールにウェブブラウザでアクセスして行います。

なお、接続機器の環境設定を行うためにラダーソフト（LADDER EDITOR for Windows）を使用します。

詳細は EH-ETH のマニュアルを参照してください。

1. ラダーソフトの [I/O 割付] で CPU モジュールにイーサネットモジュールを割り付けます。
2. イーサネットモジュールのディップスイッチ 1、6 のみ ON にして電源を投入します。イーサネットモジュールにアクセスするための仮の IP アドレス（192.168.0.4）が設定されます。

| ビット No.※1 |     |     |     |     |    |     |     | 動作モード            |
|-----------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|------------------|
| 1         | 2   | 3   | 4   | 5   | 6  | 7   | 8   |                  |
| ON        | OFF | OFF | OFF | OFF | ON | OFF | OFF | Ethernet 情報設定モード |

※1 IP アドレスの最下位バイトをビット No.3 から 8 で設定します。上位 3 バイトは 192.168.0. 固定です。

3. パソコンの Ethernet ポートと EH-ETH の Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。（HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。）
4. ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.4/」と入力し、イーサネットモジュールへアクセスします。  
アクセスするためにはパソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があります。（192.168.0.10 など）
5. 表示された画面のメニューフレームから [IP Address] を選択し、IP アドレスを設定します。
6. 同様にメニューフレームから [Task Code] を選択し、「Port No.」「Protocol」を設定します。  
IP アドレス、「Port No.」「Protocol」は表示器側で設定した内容に合わせてください。
7. 接続機器の電源を OFF し、ディップスイッチをすべて OFF にして接続機器の電源を ON します。

### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

### 3.5 設定例 5

#### ■ GP-Pro EX の設定

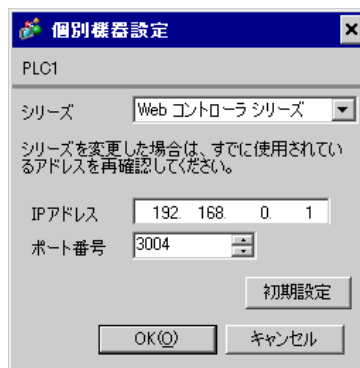
##### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの [ システム設定ウィンドウ ] から [ 接続機器設定 ] を選択します。



##### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[ 接続機器設定 ] の [ 機器別設定 ] から設定したい接続機器の  ([ 設定 ]) をクリックします。[ シリーズ ] から「Web コントローラシリーズ」を選択します。



##### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスとポート番号は、接続機器側の IP アドレスとポート番号を設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

## ■ 接続機器の設定（Web コントローラ）

通信設定は接続機器にウェブブラウザでアクセスして行います。

詳細は Web コントローラのマニュアルを参照してください。

1. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定することで、イーサネットポートの仮の IP アドレスが 192.168.0.1 に設定されます。

＜動作モード設定スイッチ＞

- EH-WD10DR：ロータリスイッチを「2」に設定
- EH-WA23DR：ディップスイッチ 4 のみ ON に設定

2. パソコンの Ethernet ポートと Web コントローラの Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。（HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。）

3. ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.1/mwconfig.cgi」と入力し、接続機器へアクセスします。

アクセスするためにはパソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があります。（192.168.0.10 など）

4. 表示された System Configuration Login 画面でログインします。
5. 表示された画面の [System Configuration] から [Ethernet Protocol] — [Passive HlProtocol] を選択し、「Task Code Port」、「Port No.」を設定します。
6. 同様に [System Configuration] から [IP Address] を選択し、IP アドレスを設定します。「Task Code Port」、「Port No.」、IP アドレスは表示器側で設定した内容に合わせてください。

### MEMO

- IP アドレス設定後は Web コントローラが再起動されます。再度ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.1/mwconfig.cgi」と入力し、System Configuration Login 画面でログインした後、設定内容を確認してください。

7. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定し、電源を再投入します。

＜動作モード設定スイッチ＞

- EH-WD10DR：ロータリスイッチを「0」に設定
- EH-WA23DR：ディップスイッチをすべて OFF に設定

## ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。



### 3.6 設定例 6

#### ■ GP-Pro EX の設定

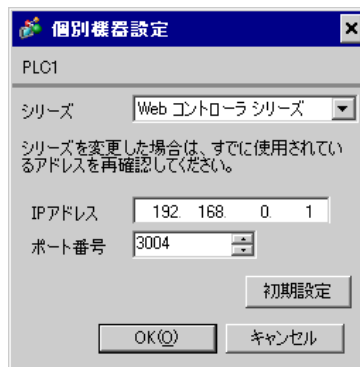
##### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの [ システム設定ウィンドウ ] から [ 接続機器設定 ] を選択します。



##### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[ 接続機器設定 ] の [ 機器別設定 ] から設定したい接続機器の  ([ 設定 ]) をクリックします。[ シリーズ ] から「Web コントローラシリーズ」を選択します。



##### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスとポート番号は、接続機器側の IP アドレスとポート番号を設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

## ■ 接続機器の設定（Web コントローラ）

通信設定は接続機器にウェブブラウザでアクセスして行います。

詳細は Web コントローラのマニュアルを参照してください。

1. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定することで、イーサネットポートの仮の IP アドレスが 192.168.0.1 に設定されます。

＜動作モード設定スイッチ＞

- EH-WD10DR：ロータリスイッチを「2」に設定
- EH-WA23DR：ディップスイッチ 4 のみ ON に設定

2. パソコンの Ethernet ポートと Web コントローラの Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。（HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。）

3. ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.1/mwconfig.cgi」と入力し、接続機器へアクセスします。

アクセスするためにはパソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があります。（192.168.0.10 など）

4. 表示された System Configuration Login 画面でログインします。
5. 表示された画面の [System Configuration] から [Ethernet Protocol] — [Passive HiProtocol] を選択し、「Task Code Port」、「Port No.」を設定します。
6. 同様に [System Configuration] から [IP Address] を選択し、IP アドレスを設定します。「Task Code Port」、「Port No.」、IP アドレスは表示器側で設定した内容に合わせてください。

### MEMO

- IP アドレス設定後は Web コントローラが再起動されます。再度ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.1/mwconfig.cgi」と入力し、System Configuration Login 画面でログインした後、設定内容を確認してください。

7. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定し、電源を再投入します。

＜動作モード設定スイッチ＞

- EH-WD10DR：ロータリスイッチを「0」に設定
- EH-WA23DR：ディップスイッチをすべて OFF に設定

## ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

### 3.7 設定例 7

#### ■ GP-Pro EX の設定

##### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの [ システム設定ウィンドウ ] から [ 接続機器設定 ] を選択します。

##### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[ 接続機器設定 ] の [ 機器別設定 ] から設定したい接続機器の ([ 設定 ]) をクリックします。[ シリーズ ] から「EHV シリーズ」を選択します。

##### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスとポート番号は、接続機器側の IP アドレスとポート番号を設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

## ■ 接続機器の設定（EHV-CPU 上の Ethernet ポート）

通信設定はプログラミングソフトウェア（Control Editor）で行います。

詳細は EHV のマニュアルを参照してください。

1. プログラミングソフトウェアを起動し、プロジェクトを作成します。オフラインモードでプロジェクトが表示されます。
2. [ ツール ] メニューから [ エディタ通信設定 ] を選択し、通信設定ダイアログボックスを表示します。
3. 通信設定を接続機器に転送するための通信方法を「USB」、「シリアル」から選択し、[ 設定 ] をクリックします。
4. USB ケーブルまたはシリアルケーブル（日立産機システム製）でパソコンと接続機器を接続します。
5. [ オンライン ] メニューから [ モード切替 ] - [ オンライン ] を選択し、オンラインモードへ移行します。
6. [ ツール ] メニューから [ CPU 設定 ] - [ IP アドレス設定 ] を選択し、IP アドレスを設定します。
7. [ ツール ] メニューから [ CPU 設定 ] - [ イーサネット通信（タスクコード）設定 ] を選択し、「ポート No.」と「プロトコル」を設定します。  
IP アドレス、「ポート No.」、「プロトコル」は表示器側で設定した内容に合わせてください。
8. 接続機器の電源を再投入します。

### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 3.8 設定例 8

### ■ GP-Pro EX の設定

#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの [ システム設定ウィンドウ ] から [ 接続機器設定 ] を選択します。

#### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[ 接続機器設定 ] の [ 機器別設定 ] から設定したい接続機器の  ([ 設定 ]) をクリックします。[ シリーズ ] から「EHV シリーズ」を選択します。

#### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスとポート番号は、接続機器側の IP アドレスとポート番号を設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

## ■ 接続機器の設定（EHV-CPU 上の Ethernet ポート）

通信設定はプログラミングソフトウェア（Control Editor）で行います。

詳細は EHV のマニュアルを参照してください。

1. プログラミングソフトウェアを起動し、プロジェクトを作成します。オフラインモードでプロジェクトが表示されます。
2. [ ツール ] メニューから [ エディタ通信設定 ] を選択し、通信設定ダイアログボックスを表示します。
3. 通信設定を接続機器に転送するための通信方法を「USB」、「シリアル」から選択し、[ 設定 ] をクリックします。
4. USB ケーブルまたはシリアルケーブル（日立産機システム製）でパソコンと接続機器を接続します。
5. [ オンライン ] メニューから [ モード切替 ] - [ オンライン ] を選択し、オンラインモードへ移行します。
6. [ ツール ] メニューから [ CPU 設定 ] - [ IP アドレス設定 ] を選択し、IP アドレスを設定します。
7. [ ツール ] メニューから [ CPU 設定 ] - [ イーサネット通信（タスクコード）設定 ] を選択し、「ポート No.」と「プロトコル」を設定します。  
IP アドレス、「ポート No.」、「プロトコル」は表示器側で設定した内容に合わせてください。
8. 接続機器の電源を再投入します。

### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 詳細はラダーソフトのマニュアルを参照してください。

### 3.9 設定例 9

#### ■ GP-Pro EX の設定

##### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの [ システム設定ウィンドウ ] から [ 接続機器設定 ] を選択します。

##### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[ 接続機器設定 ] の [ 機器別設定 ] から設定したい接続機器の  ([ 設定 ]) をクリックします。[ シリーズ ] から「EHV シリーズ」を選択します。

##### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスとポート番号は、接続機器側の IP アドレスとポート番号を設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

## ■ 接続機器の設定（EH-ETH）

通信設定はイーサネットモジュールにウェブブラウザでアクセスして行います。

なお、接続機器の環境設定を行うためにラダーソフト（LADDER EDITOR for Windows）を使用します。

詳細は EH-ETH のマニュアルを参照してください。

1. ラダーソフトの [I/O 割付] で CPU モジュールにイーサネットモジュールを割り付けます。
2. イーサネットモジュールのディップスイッチ 1、6 のみ ON にして電源を投入します。イーサネットモジュールにアクセスするための仮の IP アドレス（192.168.0.4）が設定されます。

| ビット No.※1 |     |     |     |     |    |     |     | 動作モード            |
|-----------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|------------------|
| 1         | 2   | 3   | 4   | 5   | 6  | 7   | 8   |                  |
| ON        | OFF | OFF | OFF | OFF | ON | OFF | OFF | Ethernet 情報設定モード |

※1 IP アドレスの最下位バイトをビット No.3 から 8 で設定します。上位 3 バイトは 192.168.0. 固定です。

3. パソコンの Ethernet ポートと EH-ETH の Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。（HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。）
4. ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.4/」と入力し、イーサネットモジュールへアクセスします。  
アクセスするためにはパソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があります。（192.168.0.10 など）
5. 表示された画面のメニューフレームから [IP Address] を選択し、IP アドレスを設定します。
6. 同様にメニューフレームから [Task Code] を選択し、「Port No.」「Protocol」を設定します。  
IP アドレス、「Port No.」「Protocol」は表示器側で設定した内容に合わせてください。
7. 接続機器の電源を OFF し、ディップスイッチをすべて OFF にして接続機器の電源を ON します。

### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。



### 3.10 設定例 10

#### ■ GP-Pro EX の設定

##### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの [ システム設定ウィンドウ ] から [ 接続機器設定 ] を選択します。

接続機器1

概要

メーカー (株)日産機システム シリーズ Hシリーズイーサネット ポート イーサネット(UDP)

文字列データモード 1 変更

通信設定

ポート番号 1024

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 0 (ms) 初期設定

機器別設定

接続可能台数 32台

| No. | 機器名  | 設定                                            |
|-----|------|-----------------------------------------------|
| 1   | PLC1 | シリーズ=EHV シリーズ,IPアドレス=192.168.0.001,ポート番号=3004 |

##### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[ 接続機器設定 ] の [ 機器別設定 ] から設定したい接続機器の  ([ 設定 ]) をクリックします。[ シリーズ ] から「EHV シリーズ」を選択します。

個別機器設定

PLC1

シリーズ EHV シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

IPアドレス 192 168 0 1

ポート番号 3004

初期設定

OK(O) キャンセル

##### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスとポート番号は、接続機器側の IP アドレスとポート番号を設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

## ■ 接続機器の設定（EH-ETH）

通信設定はイーサネットモジュールにウェブブラウザでアクセスして行います。

なお、接続機器の環境設定を行うためにラダーソフト（LADDER EDITOR for Windows）を使用します。

詳細は EH-ETH のマニュアルを参照してください。

1. ラダーソフトの [I/O 割付] で CPU モジュールにイーサネットモジュールを割り付けます。
2. イーサネットモジュールのディップスイッチ 1、6 のみ ON にして電源を投入します。イーサネットモジュールにアクセスするための仮の IP アドレス（192.168.0.4）が設定されます。

| ビット No.※1 |     |     |     |     |    |     |     | 動作モード            |
|-----------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|------------------|
| 1         | 2   | 3   | 4   | 5   | 6  | 7   | 8   |                  |
| ON        | OFF | OFF | OFF | OFF | ON | OFF | OFF | Ethernet 情報設定モード |

※1 IP アドレスの最下位バイトをビット No.3 から 8 で設定します。上位 3 バイトは 192.168.0. 固定です。

3. パソコンの Ethernet ポートと EH-ETH の Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。（HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。）
4. ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.4/」と入力し、イーサネットモジュールへアクセスします。  
アクセスするためにはパソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があります。（192.168.0.10 など）
5. 表示された画面のメニューフレームから [IP Address] を選択し、IP アドレスを設定します。
6. 同様にメニューフレームから [Task Code] を選択し、「Port No.」「Protocol」を設定します。  
IP アドレス、「Port No.」「Protocol」は表示器側で設定した内容に合わせてください。
7. 接続機器の電源を OFF し、ディップスイッチをすべて OFF にして接続機器の電源を ON します。

### ◆ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。同一ネットワークで重複する IP アドレスを設定しないでください。

## 4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。

各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

☞ 「3 通信設定例」(7 ページ)

### 4.1 GP-Pro EX での設定項目

#### ■ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択します。

| 設定項目   | 設定内容                                                                                                                                                                                     |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ポート番号  | <p>表示器のポート番号を「1024～65535」で入力します。[自動割当]にチェックを入れた場合、ポート番号は自動で設定されます。</p> <p><b>MEMO</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[自動割当]は[接続方法]で「イーサネット(TCP)」を選択した場合のみ設定できます。</li> </ul> |
| タイムアウト | 表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1～127」で入力します。                                                                                                                                                     |
| リトライ   | 接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0～255」で入力します。                                                                                                                                          |
| 送信ウェイト | 表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間(ms)を「0～255」で入力します。                                                                                                                                    |

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[ 接続機器設定 ] の [ 機器別設定 ] から設定したい接続機器の  ([ 設定 ]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[ 接続機器設定 ] の [ 機器別設定 ] から  をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



| 設定項目    | 設定内容                                                                                                                                                   |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| シリーズ    | 接続機器の種類を選択します。                                                                                                                                         |
| IP アドレス | 接続機器の IP アドレスを設定します。<br><div><b>MEMO</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。</li></ul> |
| ポート番号   | 接続機器のポート番号を「1024 ～ 65535」で入力します。                                                                                                                       |

## 4.2 オフラインモードでの設定

### MEMO

- ・ オフラインモードへの入り方や操作方法は GP3000 シリーズユーザーズマニュアルを参照してください。

参照：GP3000 シリーズユーザーズマニュアル「4 章 設定」

### ■ 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

| 通信設定                       | 機器設定                                                         |          |  |                     |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------|----------|--|---------------------|
| Hシリーズイーサネット [UDP] Page 1/1 |                                                              |          |  |                     |
| ポート番号                      | <input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 自動 | 1024 ▼ ▲ |  |                     |
| タイムアウト(s)                  |                                                              | 3 ▼ ▲    |  |                     |
| リトライ                       |                                                              | 2 ▼ ▲    |  |                     |
| 送信ウェイト(ms)                 |                                                              | 0 ▼ ▲    |  |                     |
| 終了                         |                                                              | 戻る       |  | 2006/05/15 11:32:50 |

| 設定項目   | 設定内容                                                                                                                                                                         |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ポート番号  | 表示器のポート番号を設定します。<br>UDP 接続では「固定」「自動」の選択に関わらず、入力したポート番号が割り当てられます。<br>TCP 接続では「固定」「自動」のいずれかを選択します。「固定」を選択した場合は表示器のポート番号を「1024～65535」で入力します。「自動」を選択した場合は入力した値に関わらず自動的に割り当てられます。 |
| タイムアウト | 表示器が接続機器からの応答を待つ時間 (s) を「1～127」で入力します。                                                                                                                                       |
| リトライ   | 接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0～255」で入力します。                                                                                                                              |
| 送信ウェイト | 表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms) を「0～255」で入力します。                                                                                                                      |

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[ 周辺機器設定 ] から [ 接続機器設定 ] をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[ 機器設定 ] をタッチします。

|             |               |       |          |                        |
|-------------|---------------|-------|----------|------------------------|
| 通信設定        | 機器設定          |       |          |                        |
| Hシリーズイーサネット |               | [UDP] | Page 1/1 |                        |
| 接続機器名       |               | PLC1  |          |                        |
| シリーズ        | H/EH-150 シリーズ |       |          |                        |
| IPアドレス      | 192 168 0 1   |       |          |                        |
| ポート番号       | 3004          |       |          |                        |
| 終了          |               | 戻る    |          | 2006/05/15<br>11:32:53 |

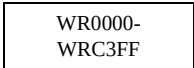
| 設定項目    | 設定内容                                                                                                    |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 接続機器名   | 設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])                                             |
| シリーズ    | 接続機器の種類を表示します。                                                                                          |
| IP アドレス | 接続機器の IP アドレスを設定します。 <div><b>MEMO</b><br/>IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。</div> |
| ポート番号   | 接続機器のポート番号を「1024 ～ 65535」で入力します。                                                                        |

## 5 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

### 5.1 H / EH-150 シリーズ

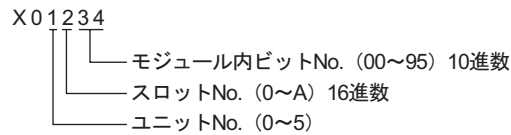
 はシステムデータエリアに指定できます。

| デバイス              | ビットアドレス       | ワードアドレス                                                                                           | ダブルワードアドレス    | 32 bit                                                                               | 備考                                                                                    |
|-------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 外部入力              | X00000-X05A95 | WX0000-WX05A7                                                                                     | DX0000-DX05A6 |  | ※ 1 ※ 2                                                                               |
| 外部出力              | Y00000-Y05A95 | WY0000-WY05A7                                                                                     | DY0000-DY05A6 |                                                                                      | ※ 2                                                                                   |
| リモート入力リレー         | X10000-X49995 | WX1000-WX4997                                                                                     | DX1000-DX4996 |                                                                                      | ※ 1 ※ 3                                                                               |
| リモート出力リレー         | Y10000-Y49995 | WY1000-WY4997                                                                                     | DY1000-DY4996 |                                                                                      | ※ 3                                                                                   |
| 内部出力              | R000-R7BF     | —                                                                                                 | —             |                                                                                      |                                                                                       |
| 特殊内部出力            | R7C0-R7FF     | —                                                                                                 | —             |                                                                                      |                                                                                       |
| データエリア            | M0000-M3FFF   | WM000-WM3FF                                                                                       | DM000-DM3FE   |                                                                                      |                                                                                       |
| 第 1 CPU リンク       | L00000-L03FFF | WL0000-WL03FF                                                                                     | DL0000-DL03FE |                                                                                      |                                                                                       |
| 第 2 CPU リンク       | L10000-L13FFF | WL1000-WL13FF                                                                                     | DL1000-DL13FE |                                                                                      |                                                                                       |
| オンディレータイマ         | TD000 -TD255  | —                                                                                                 | —             |                                                                                      |                                                                                       |
| シングルショットタイマ       | SS000-SS255   | —                                                                                                 | —             |                                                                                      |                                                                                       |
| ウォッチドッグタイマ        | WDT000-WDT255 | —                                                                                                 | —             |                                                                                      |                                                                                       |
| モノステーブルタイマ        | MS000-MS255   | —                                                                                                 | —             |                                                                                      |                                                                                       |
| 積算タイマ             | TMR000-TMR255 | —                                                                                                 | —             |                                                                                      |                                                                                       |
| アップカウンタ           | CU000-CU511   | —                                                                                                 | —             |                                                                                      |                                                                                       |
| リングカウンタ           | RCU000-RCU511 | —                                                                                                 | —             |                                                                                      |                                                                                       |
| アップダウンカウンタ        | CT000-CT511   | —                                                                                                 | —             |                                                                                      |                                                                                       |
| タイマ・カウンタ<br>(経過値) | —             | TC000-TC511                                                                                       | —             |                                                                                      |                                                                                       |
| ワード内部出力           | —             |  WR0000-WRC3FF | DR0000-DRC3FE |                                                                                      |  |
| ネットワークリンクエリア      | —             | WN0000-WN7FFF                                                                                     | DN0000-DN7FFE |                                                                                      |  |

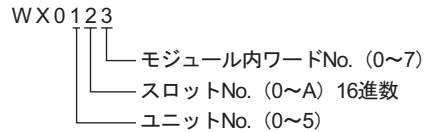
※ 1 書込み不可

※ 2 次のように指定します。

＜例＞外部入力ユニット No.1、スロット No.2、モジュール内ビット No.34 の場合

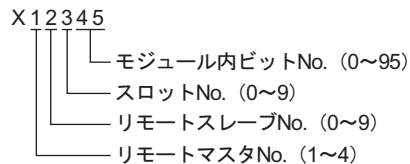


＜例＞外部入力ユニット No.1、スロット No.2、モジュール内ワード No.3 の場合

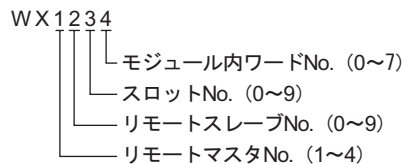


※ 3 次のように指定します。

＜例＞リモート外部入力リモートマスタ No.1、リモートスレーブ No.2、スロット No.3、モジュール内ビット No.45 の場合



＜例＞リモート外部入力リモートマスタ No.1、リモートスレーブ No.2、スロット No.3、モジュール内ワード No.4 の場合



#### MEMO

- ・ 使用できるデバイスの種類、範囲は CPU によって異なる場合があります。ご使用になる前に、各 CPU のマニュアルでご確認ください。



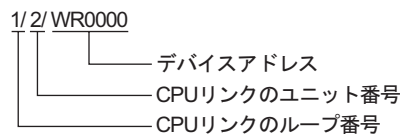
## ■ CPU リンクを使用する場合のアドレス設定方法

「CPU リンクを使用」のチェックボックスを ON にします。

CPU リンクを使用する場合は、アドレスにループ番号とユニット番号が付加されます。



＜例＞ループ番号 1、ユニット番号 2 の場合



### MEMO

- システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

**参照：GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア（ダイレクトアクセス方式専用）」**

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

## 5.2 Web コントローラシリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

| デバイス              | ビットアドレス                                                                 | ワードアドレス                                                                 | ダブルワードアドレス                                                        | 32 bit                                                                             | 備考                                                                                           |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 外部入力              | X0000-X0012<br>X1000-X1015<br>X2000-X2015<br>X3000-X3015<br>X4000-X4015 | WX030-WX031<br>WX100-WX104<br>WX200-WX204<br>WX300-WX304<br>WX400-WX404 | DX030<br>DX100-DX103<br>DX200-DX203<br>DX300-DX303<br>DX400-DX403 |  | ※ 1                                                                                          |
| 外部出力              | Y0100-Y0109<br>Y1016-Y1031<br>Y2016-Y2031<br>Y3016-Y3031<br>Y4016-Y4031 | WY40<br>WY105-WY107<br>WY205-WY207<br>WY305-WY307<br>WY405-WY407        | DY105-DY106<br>DY205-DY206<br>DY305-DY306<br>DY405-DY406          |                                                                                    |                                                                                              |
| 内部出力              | R000-R7BF                                                               | —                                                                       | —                                                                 |                                                                                    |                                                                                              |
| 特殊内部出力            | R7C0-R7FF                                                               | —                                                                       | —                                                                 |                                                                                    |                                                                                              |
| データエリア            | M0000-M3FFF                                                             | WM000-WM3FF                                                             | DM000-DM3FE                                                       |                                                                                    |                                                                                              |
| オンディレータイマ         | TD000-TD255                                                             | —                                                                       | —                                                                 |                                                                                    | ※ 2                                                                                          |
| シングルショットタイマ       | SS000-SS255                                                             | —                                                                       | —                                                                 |                                                                                    | ※ 2                                                                                          |
| アップカウンタ           | CU000-CU255                                                             | —                                                                       | —                                                                 |                                                                                    | ※ 2                                                                                          |
| アップダウンカウンタ        | CT000-CT255                                                             | —                                                                       | —                                                                 |                                                                                    | ※ 2※ 3                                                                                       |
| タイマ・カウンタ<br>(経過値) | —                                                                       | TC000-TC255                                                             | —                                                                 |                                                                                    |                                                                                              |
| ワード内部出力           | —                                                                       | WR0000-<br>WRC3FF                                                       | DR0000-DRC3FE                                                     |                                                                                    | ※ 4<br> |
| ワード特殊内部出力         |                                                                         | WRF000-<br>WRF1FF                                                       | DRF000-DRF1FE                                                     |                                                                                    |         |

※ 1 書込み不可

※ 2 ラダープログラム上でそれぞれのタイマ、カウンタを定義する必要があります。

※ 3 アップダウンカウンタアップ入力、アップダウンカウンタダウン入力は共に CT で指定しますが、接続機器でのデバイス名はそれぞれ CTU、CTD です。

CTU にアクセスする場合は、接続機器のラダープログラム上で該当のアドレスを CTU と定義します。同様に、CTD にアクセスする場合は、接続機器のラダープログラム上で該当のアドレスを CTD と定義します。

※ 4 EH-WD10DR の場合、アドレス範囲は「WR0000-WR3FFF」、「DR0000-DR3FFE」です。

**MEMO** • システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照：GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア（ダイレクトアクセス方式専用）」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

## 5.3 EHV シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

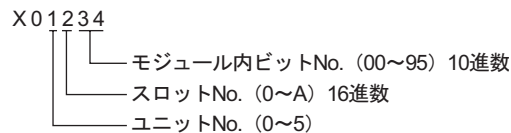
| デバイス        | ビットアドレス         | ワードアドレス         | ダブルワードアドレス      | 32 bit | 備考      |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------|---------|
| 外部入力        | X00000-X05A95   | WX0000-WX05A7   | DX0000-DX05A6   | [L/H]  | ※ 1 ※ 2 |
| 外部出力        | Y00000-Y05A95   | WY0000-WY05A7   | DY0000-DY05A6   |        | ※ 2     |
| リモート入力リレー   | X10000-X45A95   | WX1000-WX45A7   | DX1000-DX45A6   |        | ※ 1 ※ 3 |
| リモート出力リレー   | Y10000-Y45A95   | WY1000-WY45A7   | DY1000-DY45A6   |        | ※ 3     |
| 拡張外部入力      | EX00000-EX5A7FF | WEX0000-WEX5A7F | DEX0000-DEX5A7E |        | ※ 1     |
| 拡張外部出力      | EY00000-EY5A7FF | WEY0000-WEY5A7F | DEY0000-DEY5A7E |        |         |
| 内部出力        | R000-R7BF       | —               | —               |        |         |
| データエリア      | M00000-M7FFFF   | WM0000-WM7FFF   | DM0000-DM7FFE   |        |         |
| 第 1CPU リンク  | L00000-L03FFF   | WL0000-WL03FF   | DL0000-DL03FE   |        |         |
| 第 2CPU リンク  | L10000-L13FFF   | WL1000-WL13FF   | DL1000-DL13FE   |        |         |
| 第 3CPU リンク  | L20000-L23FFF   | WL2000-WL23FF   | DL2000-DL23FE   |        |         |
| 第 4CPU リンク  | L30000-L33FFF   | WL3000-WL33FF   | DL3000-DL33FE   |        |         |
| 第 5CPU リンク  | L40000-L43FFF   | WL4000-WL43FF   | DL4000-DL43FE   |        |         |
| 第 6CPU リンク  | L50000-L53FFF   | WL5000-WL53FF   | DL5000-DL53FE   |        |         |
| 第 7CPU リンク  | L60000-L63FFF   | WL6000-WL63FF   | DL6000-DL63FE   |        |         |
| 第 8CPU リンク  | L70000-L73FFF   | WL7000-WL73FF   | DL7000-DL73FE   |        |         |
| オンディレータイマ   | TD0000-TD2559   | —               | —               |        |         |
| オフディレータイマ   | TDN0000-TDN2559 | —               | —               |        |         |
| シングルショットタイマ | SS0000-SS2559   | —               | —               |        |         |
| ウォッチドッグタイマ  | WDT0000-WDT2559 | —               | —               |        |         |
| モノステーブルタイマ  | MS0000-MS2559   | —               | —               |        |         |
| 積算タイマ       | TMR0000-TMR2559 | —               | —               |        |         |
| アップダウンカウンタ  | CT000-CT511     | —               | —               |        |         |
| アップカウンタ     | CU000-CU511     | —               | —               |        |         |
| リングカウンタ     | RCU000-RCU511   | —               | —               |        |         |

| デバイス              | ビットアドレス               | ワードアドレス             | ダブルワードアドレス          | 32 bit | 備考 |
|-------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|--------|----|
| タイマ・カウンタ<br>(経過値) | —                     | TC0000-TC2559       | —                   | [L/H]  |    |
| ワード内部出力           | WR00000-<br>WREFFFF   | WR0000-<br>WREFFF   | DR0000-DREFFE       |        |    |
| データエリア            | WN000000-<br>WN1FFFFF | WN00000-<br>WN1FFFF | DN00000-<br>DN1FFFE |        |    |

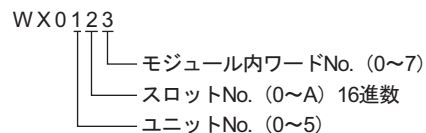
※ 1 書き込み不可

※ 2 次のように指定します。

＜例＞外部入力ユニット No.1、スロット No.2、モジュール内ビット No.34 の場合

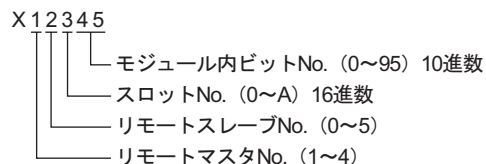


＜例＞外部入力ユニット No.1、スロット No.2、モジュール内ワード No.3 の場合

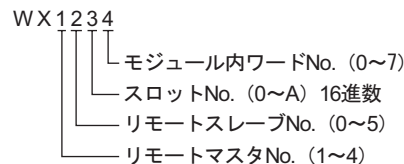


※ 3 次のように指定します。

＜例＞リモート外部入力リモートマスタ No.1、リモートスレーブ No.2、スロット No.3、モジュール内ビット No.45 の場合



＜例＞リモート外部入力リモートマスタ No.1、リモートスレーブ No.2、スロット No.3、モジュール内ワード No.4 の場合



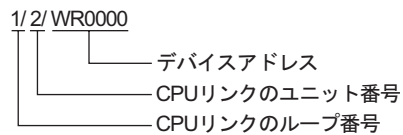
## ■ CPU リンクを使用する場合

「CPU リンクを使用」のチェックボックスを ON にします。

CPU リンクを使用する場合は、アドレスにループ番号とユニット番号が付加されます。



＜例＞ループ番号 1、ユニット番号 2 の場合



### MEMO

- システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

**参照：GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア（ダイレクトアクセス方式専用）」**

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
- 「表記のルール」

## 6 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

### 6.1 H / EH-150 シリーズ

| デバイス              | デバイス名 | デバイスコード<br>(HEX) | アドレスコード |
|-------------------|-------|------------------|---------|
| 入力リレー             | X     | 0080             | ワードアドレス |
|                   | WX    |                  | ワードアドレス |
|                   | DX    | 0020             | ワードアドレス |
| 出力リレー             | Y     | 0081             | ワードアドレス |
|                   | WY    |                  | ワードアドレス |
|                   | DY    | 0021             | ワードアドレス |
| データエリア            | M     | 0082             | ワードアドレス |
|                   | WM    |                  | ワードアドレス |
|                   | DM    | 0022             | ワードアドレス |
| CPU リンク           | L     | 0083             | ワードアドレス |
|                   | WL    |                  | ワードアドレス |
|                   | DL    | 0023             | ワードアドレス |
| タイマ・カウンタ<br>(経過値) | TC    | 0060             | ワードアドレス |
| ワード内部出力           | WR    | 0000             | ワードアドレス |
|                   | DR    | 0024             | ワードアドレス |
| ネットワークリンクエリア      | WN    | 0001             | ワードアドレス |
|                   | DN    | 0025             | ワードアドレス |

## 6.2 Web コントローラ シリーズ

| デバイス          | デバイス名 | デバイスコード<br>(HEX) | アドレスコード |
|---------------|-------|------------------|---------|
| 外部入力          | X     | 0080             | ワードアドレス |
|               | WX    |                  | ワードアドレス |
|               | DX    | 0020             | ワードアドレス |
| 外部出力          | Y     | 0081             | ワードアドレス |
|               | WY    |                  | ワードアドレス |
|               | DY    | 0021             | ワードアドレス |
| 内部出力          | M     | 0082             | ワードアドレス |
|               | WM    |                  | ワードアドレス |
|               | DM    | 0022             | ワードアドレス |
| タイマ・カウンタ（経過値） | TC    | 0060             | ワードアドレス |
| ワード内部出力       | WR    | 0000             | ワードアドレス |
| ワード特殊内部出力     | DR    | 0024             | ワードアドレス |

## 6.3 EHV シリーズ

| デバイス              | デバイス名 | デバイスコード<br>(HEX) | アドレスコード |
|-------------------|-------|------------------|---------|
| 外部入力              | X     | 0080             | ワードアドレス |
|                   | WX    |                  | ワードアドレス |
|                   | DX    | 0020             | ワードアドレス |
| 外部出力              | Y     | 0081             | ワードアドレス |
|                   | WY    |                  | ワードアドレス |
|                   | DY    | 0021             | ワードアドレス |
| 拡張外部入力            | EX    | 0084             | ワードアドレス |
|                   | WEX   |                  | ワードアドレス |
|                   | DEX   | 0026             | ワードアドレス |
| 拡張外部出力            | EY    | 0085             | ワードアドレス |
|                   | WEY   |                  | ワードアドレス |
|                   | DEY   | 0027             | ワードアドレス |
| データエリア            | M     | 0082             | ワードアドレス |
|                   | WM    |                  | ワードアドレス |
|                   | DM    | 0022             | ワードアドレス |
| CPU リンク           | L     | 0083             | ワードアドレス |
|                   | WL    |                  | ワードアドレス |
|                   | DL    | 0023             | ワードアドレス |
| ワード内部出力           | WR    | 0000             | ワードアドレス |
|                   | DR    | 0024             | ワードアドレス |
| データエリア            | WN    | 0001             | ワードアドレス |
|                   | DN    | 0025             | ワードアドレス |
| タイマ・カウンタ<br>(経過値) | TC    | 0060             | ワードアドレス |



## 7 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のように表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

| 項目       | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 番号       | エラー番号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 機器名      | エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| エラーメッセージ | 発生したエラーに関するメッセージを表示します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| エラー発生箇所  | <p>エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"><b>MEMO</b></div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IP アドレスは「IP アドレス (10 進数): MAC アドレス (16 進数)」のように表示されます。</li> <li>・ デバイスアドレスは「アドレス: デバイスアドレス」のように表示されます。</li> <li>・ 受信エラーコードは「[16 進数, 16 進数]」のように表示されます。</li> </ul> |

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書き込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード :[02H,02H])」

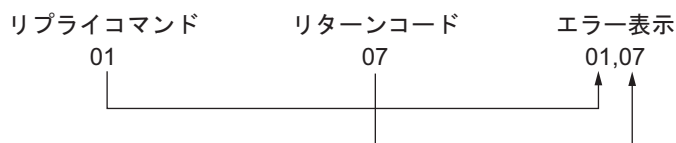
**MEMO**

・ 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。

### ■ ドライバ固有のエラーコード

エラーコードは分割された 2 バイトのコードとして送信されます。

<例>



| エラーコード | 説明                    |
|--------|-----------------------|
| 01,05  | 要求されたポイントの数が指定の範囲外である |
| 01,06  | 指定されたデバイスが存在しない       |
| 01,07  | 指定されたデバイスアドレスが範囲外である  |

**MEMO**

・ 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。